

広報

むせんとう

10
11
No.16

発行・編集 / 相双地区電気工事協同組合
編集担当 総務委員会
〒975-0033 福島県原町市高見町2丁目7番地
TEL (0244) 22-1951(代)

平成十年度福島県中小企業団体中央会

モデル組合に指定される

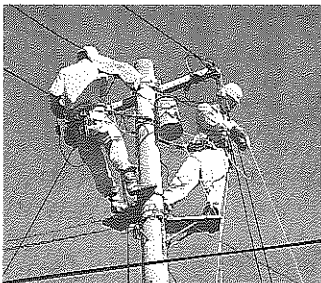
この程中央会のモデル組合 組合は今までになかったものに指定され、指定書が手渡さ 事、大変喜ばしいかぎりです。昭和六十一年にも指定 今後ますます組合の発展とを受け今年度二度目となる。 活性化に努めていきたいと思 県内でも二度の指定を受けたい ます。



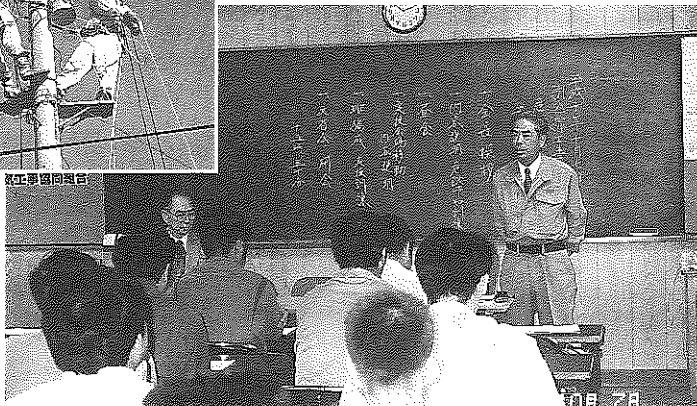
危険予知訓練と安全作業教育

平成十年七月七日、十日、平成十年十月六日、九日、二度に渡り各地区に於いて実施された。

自らの安全は自ら守るという「自主管理」を柱とした安全管理の尚一層の向上と安全確保に対する意識高揚を図り、労働災害の撲滅を図る事を目的として、午前中は東北電力(株)原町営業所の松崎安全主査によるミーティング、午後は引込線張替工事を実施した。出席された方々は災害を絶対に出不さう心構えで熱心に取り組んでいました。



原町営業所



理事会開催

第一回理事会

平成十年四月十五日(水)午前
十時より、組合会議室に於いて、理事六名の出席により開催、次の議題により審議した。

第一号議案 平成九年度事業報告並びに同決算について

第二号議案 平成十年度事業計画(案)並びに同予算(案)について

第三号議案 相双地区電気工事協同組合優良従業員表彰者について

第四号議案 東北七県連優良従業員表彰の推せんについて

第五号議案 安全表彰個人推せんについて

第六号議案 その他

① 第三者損害賠償制度の案内について

② 組合創立五十周年記念事業実行委員会の開催予定について

第二回理事会

平成十年五月十九日(火)午後
三時より、組合会議室に於いて、理事八名の出席により開催、次の議題により審議した。

第一号議案 平成十年度通常総会執行について

第二号議案 創立五十周年記念執行について

第三号議案 その他

第三回理事会

平成十年七月三日(金)午後三時より、和風亭もりのゆに於いて理事九名の出席のもと開催、次の議題により審議した。

第一号議案 創立五十周年式典、祝賀会終了について

第二号議案 保守技術員講習会講師委嘱について

第三号議案 厚生年金基金加入促進について

第四号議案 国民年金基金加入促進について

第四回理事会

平成十年九月四日(金)午前十時より、組合会議室に於いて、理事八名の出席により開催、次の議題により審議した。

第一号議案 創立五十周年記念事業決算報告について

第二号議案 第十五回電気工事業全国大会参加について

第三号議案 各単協組賦課金見直しの件について

第四号議案 一人親方労働災害保険取扱業務について

第五号議案 組合研修事業について

第六号議案 組合親睦事業について

第七号議案 その他

① 国民年金基金加入促進について

第五回理事会

平成十年十一月十一日(水)午前十時より組合会議室に於いて、理事九名の出席により開催、次の議題により審議した。

第一号議案 新規組合員加入規程について

第二号議案 新規組合員加入について

第三号議案 事務長退職について

第四号議案 コンピューター二〇〇〇年対応について

第五号議案 その他

① 役員忘年会開催について

② 中央会モデル組合指定の件

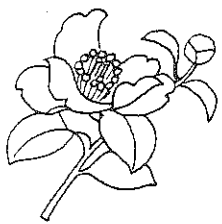
③ 組合研修決算報告

相双電協
青年部総会

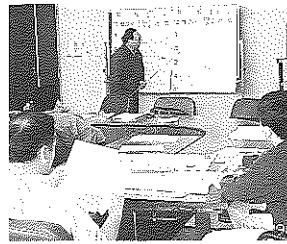
新部長に
早川輝彦氏を選出

相双地区電気工事協同組合・青年部の総会をこのほど開催、事業報告並びに同決算、役員改選等を承認。
新役員は次のとおり選任された。

- 部長 早川 輝彦
- 副部長 志賀 秀章
- 会計 渡辺 啓行
- 幹事 八巻 淳
- 幹事 鈴木 利昭
- 監事 林 裕己



職場の安全管理学ぶ職長教育



平成十年十月十三、十四日の両日、原町市「サンライフ原町」で開かれた。職長としての職場での役割、安全衛生関係からの改善や労働災害を防止するための役割を学ぶ。安全管理推進指導員の遠藤秀治講師により講義を受けた後、二班に分かれ「災害事故例」についてその発生の原因とその防止対策等について分析研究及び討議を行い、その研究成果について班毎に発表がなされた。



親睦つり大会開催

平成十年十月二日、前日までの雨がやみ澄みきった秋晴れのもと、親睦つり大会が松川浦で開催された。各関係機関の参加をいた

だき、午前七時よりつりが開始され、アイナメやカレー等を中心に大物もかき、和気藹々の中に楽しく一

準優勝以下は次のとおり。
 △準優勝―志賀孝行③松崎幸男④遠藤吉洋⑤阿部守⑥菊地広信⑦阿部智典⑧宇梶勝弘⑨高野利雄⑩丹野吉男
 △大物賞―丹野吉男△珍品賞―西内晴夫△外道賞―遠藤清



組合研修旅行実施

平成十年十月十六日、十七日の両日、組合研修旅行が実施された。あいにくの雨の中新潟県に向けて出発！

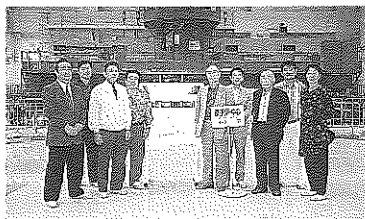
電源地帯と呼ばれている相双地区において、原子力発電所の内部まで見学されていない方々が多く、今般、新潟県柏崎刈羽原子力発電所の研修が行なわれた。

刈羽原子力発電所は、敷地



約四百二十万平方メートルある広大な敷地に七号機の原子炉があり、原子力の発電のしくみ、安全確保などの説明後発電所内部の見学があり、原子炉の真上で記念写真！ これだけ安全ですと言ふことの様です。

予定の見学コースを終了し宿泊地である越後湯沢温泉へとバスは向い、東映ホテルに到着、旅の疲れもそこそこに温泉に浸り酒宴に入った。翌十七日も台風の影響で雨であり、谷川岳の素晴らしい景色を見るはずであったが中止となってしまった。遅い台風の到来にうらめしく思った。次の見学コース、ハルナガラス工房、卯三郎こけし工場を見学しバスは相双へと向う！



相双地区電気工事協同組合 第5回親睦ゴルフ大会

開催日時	結果	TOTAL	ハンデ	ネット
平成10年 11月13日(金)	優勝 八巻正隆 (旭電設工業㈱)	92	19.2	72.8
開催場所	準優勝 (B.G.) 鈴木輝夫 (㈱協川興業)	82	8.4	73.6
鹿島 カントリークラブ	3位 渡部昌彦 (旭電気工事㈱)	87	13.2	73.8
	4位 笠原義雄 (㈱笠原電気工業所)	103	28.8	74.2
	5位 横山久勝 (横山電気㈱)	96	21.6	74.4
	B. B 青田 純 (㈱青田電気商会)	126	36	90



提案 不況への対処法



相双電気有限会社代表取締役

阿 部 定 雄

我々は物を数えるのに1、2、3と順を追って数える。実に当り前なことであるが、

今から何百年なのか、何千年なのか知らないが、インド人が0のあることを発見したのだという。従って数えて行くとき我々の観念の中では0、1、2、3と数えているのである。

若い頃、この0の発見を聞いたとき、インド人の思慮の深さに感動したものである。でも現今では常識化されて、そう驚きもしないし、日常の中では、失敗し苦境に陥ったときなど、0からやり直せば

よい、などの言葉を吐いているのである。

従って0とは空であり、無意味にとれる。だとすれば算用数字の1の後に二つ書けば百だといひ、三つ書けば千と読んでいる。だから国家予算が何十兆円などといつても、どれだけの丸を付けるのかわからないけれど、大したお金だと思ってしまう。しかしよく考えて見れば空っぽな丸を多く付けたって、それ程驚いた話ではない。

前置きは屁理屈ともつかないことをくどくどと並べたが

我慢して読んでいただきたい。

さて、最近よく耳にする言葉の中に「不況」というのがある。確かに大方の企業は、仕事目減りはあるだろう、しかし我々電気工事に携わる者の中に、閉店とか倒産を聞かない処をみると、なんとか持ち応えているのである。まあそれはさて置いて、窮地に追い込まれている自分を考えて見れば、かつてバブルの時代から目が覚めていないのではないか、そのように感じた

のである。従ってこうなって来た時代をよく見つめて、再

度時流をしっかりと把握し、原点に戻って行動を新たにすることが大事かと思う。即ち無駄を省き、贅沢だと気が付いた事から慎んで行く、こういう処を踏まえて行動すれば、

なんとか生き残れるのではないでしようか。即ち零地点に戻って精進することが大切ではないのかと思うのである。

話は飛びますが、かつてドイツの独裁者アドルフ・ヒトラーの言葉を新聞で読んだとき、なるほどと感心したことがある。浮浪者、高利貸、投機家、その他、生産的労働に

従事する能力のない人間に用はないと断言していたのである。頷ける言葉だと思ふ。

その点私達は建設という事業に携わっているのであるから、社会を堂々と歩んでいいわけだと思ふ。なにいうも常に社会に奉仕しているのだからだ。

ところで不況だという、それは我々の電気工事企業だけではない。全般的に落ち込んでいる中で、ではどう対処すればよいのか、ここが大きな課題だと思ふ。そこで私は提言する。既成の中の考えを捨てて、どんな些細な要望にも、需用者本意に立ち寄り、誠意を以て尽してあげる。この精神に切替ることが出来たら、やがてその報は戻って来るであらう、と信じているのである。

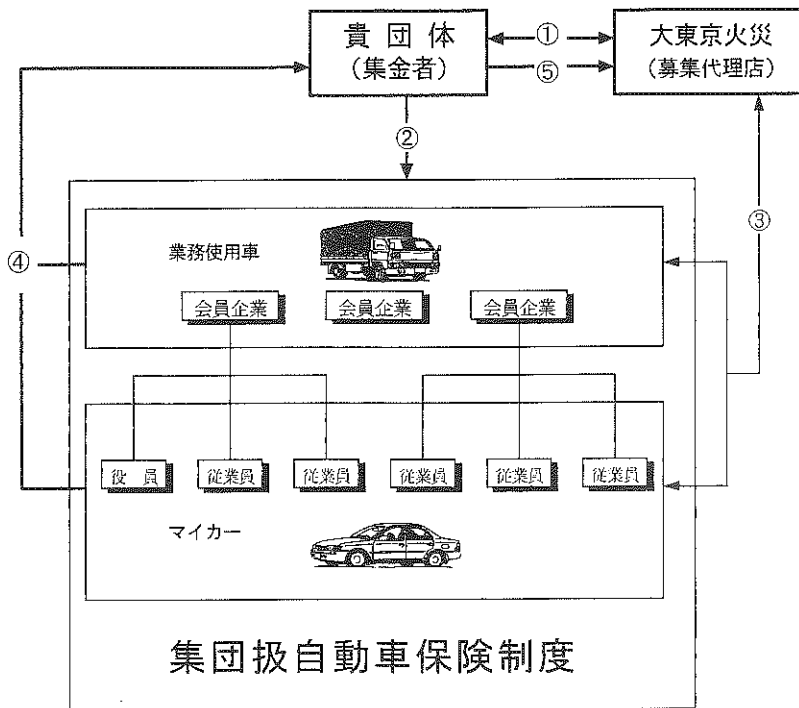
勿論、同業間の和を忘れることのないことが条件である。とに角、協同精神を忘れることなく、常に零地点からの出発という素直さを以て邁進されることを願う一人である。

自動車保険のお知らせ

大東京火災海上保険より、新たに開発した「集団扱自動車保険制度」を紹介致します。集団扱なので、現在の保険料より5%引きとなり大変お得になります。この機会に組合の自動車保険に加入しましょう。年々保険料が安くなり組合の自動車保険の代理店が危ぶまれて来ました。組合の皆様一社一台の加入に協力をお願い致します。

全体スキーム

貴団体が集金者となることによって、会員企業及びその従業員の皆様が、一般よりも有利な条件で自動車保険にご加入いただける制度です。



- ① 保険料集金に関する契約(集団扱用)
- ② 制度告知・PR活動
- ③ 保険募集、契約手続・事故対応
- ④ 保険料集金(集金代行)
- ⑤ 送金・集金事務費精算

制度の特徴

1. 対象車輛は
 会員企業の「業務使用車」
 役員・従業員の「マイカー」
※対象保険種目は全ての自動車保険
 (SAP、PAP、BAP、PD)

2. 保険料は
 一般契約よりも割安
 ・年払は5%割引
 ・12回払は5~10%割安



3. ご契約時
 キャッシュレスで
 加入手続き簡単
 原則2ヶ月後の後払い

4. 現在ご加入契約の
 無事故割引も継承
(他の保険会社、農協、全労済等
 含む)

5. 集団成立の
 最低人数は10名
 1号契約締結から1年間で
 10名加入すれば制度成立
 1法人も1名とカウント

電気工事事故撲滅に向けて

本制度は本年6月から一部制度を変更し、現在新しい制度の下で運営しております。

ここ数ヶ月の間、誤結線の事故が多く見受けられますので、次の事項を守り事故撲滅に一層のご理解ご協力お願いいたします。

1、仕様書の確認及び回路等のチェックをする事

1、電圧及び相の確認をする事

1、工事完了後の無負荷試験をする事

1、作業中は必ず計測機器を使用する事

1、お客様の立合いを求め送電する事

1、ネジの締め付けを確認し増締めをする事

